

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 7月 30日公開**ニュージーランド・オークランドより**

(日本時間7月30日午前6:50～=ニュージーランド時間午前9:50～)

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ニュージーランドの最大の都市、北島に位置するオークランドよりライブを行なっています。昨夜は、今回のツアーの最後となる、公の場での大きな集会を行いました。これが素晴らしくて、通常200名ほどの教会に600人が集まりました。最後に牧師先生が私のところに来て、言いました。

「アミールさん、以前イスラエルの大使がここに来て話した時でさえ、この半分も集まらなかったのですよ。アミールさんがイスラエル大使に立候補すれば良いのに！」

だから私は、子どもの頃の自分の夢がイスラエルの大使になることだったとお話しました。しかし、神は私に違う計画を持っておられて、私が現在行なっているのは、大使の役割のようなものだと思っています。ただ、政治家になるよりも、キリストの大使になる方が、ずっと素晴らしいです。ですから、私はとてもワクワクしています。

まず先にお祈りして、とても素晴らしい報告と、それからいくつかのニュースもお伝えしたいと思います。では、始めましょう。

お父様、ありがとうございます。あなたに心から感謝します。あなたが私を支えてくださり、このツアーにおいて「完了した！」と言えるところまで、あなたが私を導いてくださいました。ここまで素晴らしく、感動的なものになるとは、私は思っていませんでしたが、あなたの恵みによって、私には関係なく、限られた私の力にも限らず、さらに言えば、腰痛や空と陸と両方での長期間の移動にも関わらず、あなたが何度も現れてくださり、どこの場所でも満員でした。そして、あなたが導いてくださった人々は、非常にワクワクして会場を訪れ、そこを去る時にはとても励まされていました。これは私の力ではなく、あなたの御言葉の力です。あなたの御言葉が、これらの励ましの言葉をもって、互いに慰め合いなさいと伝えていきますから。これらの励ましの言葉とは、あなたは決して私たちを御怒りに遭うようには定めておられないということ、それから、あなたが間もなく来て、私たちをここから連れ出してくださいという事実です。この世に対する、あなたの裁きの言葉でもあります。それでいて、それはあなたの教会に対する、あなたの愛と情熱の言葉であり、これらは、世に対しては警告、あなたの民にとっては慰めです。ですからお父様、イスラエルを見て、この終わりの時、あなたが中東で行なっておられることが、私たちが理解出来ることを感謝します。そこから私たちは、多くの慰めと励みを受けています。あなたの御言葉に感謝します。それは、渇いた魂には水のように、あなたの御言葉は私たちの足のともしび、私たちの道を照らす光です。あなたは、天と地とその間にあるものを創られた方であられ、あなたが私たちを創られました。私たちはあなたのもので、詩篇100篇にあるように、私たちはあなたに仕え、あなたを賛美します。地球の果て、ニュージーランドのオークランドより、恐らく私が神の御言葉を教えるために、移動に最長の時間を費やしたこの場所より、あなたに感謝します。あなたがしてくださったことに、今日私は、ただ畏敬の念を抱きます。あなたに感謝し、あなたを祝福します。

イエスの御名によって。アーメン。

少し感情的になってしまいました。すみません。

ただ、全てが私の想像をはるかに超えていて、本当に素晴らしかったのです。昨夜は多くの方々が来られただけでなく、私が見たこともないような一致がそこにあって、それが見事でした。また、メッセージの終わりに、神の誠実さについて

お話ししました。2000年の後、神が私たちを故国に戻してくださったこと、恐ろしい絶滅の危機の後、神が私たちを救い出してくださったこと。詩篇83篇が、1948年のイスラエルの状態の一部を表していますが、当時、私たちは全く無力な国でした。それが、実に短期間の間に、私たちは世界で8番目の大国となりました。そして素晴らしいことに、最後の最後に、ある人が、「パルフォア伯爵の玄孫（やしゃご：ひ孫の子・初代から数えて5代目）の方々がそこに来られている」と教えてくれたのです。パルフォア伯爵は、1917年、ロスチャイルド伯爵にパルフォア宣言を送った人で、それは基本的に



Figure 1 アーサー・ジェイムス・パルフォア伯爵 (左) と玄孫、来孫の方々 (右)

は、イスラエルをユダヤ人の故国と認め、ユダヤ人がそこへ帰還することを認める、というものです。

それが、ユダ部族としてエルサレムで生まれた私が、ここで神の御言葉を教えていて、すぐそこで、パルフォア伯爵の玄孫の方々はその教えを聞いているのです！

神の誠実さを示すのに、私と彼ら全員が一緒にいること以上に、素晴らしい証拠があるだろうか、と私は思っていました。パルフォア伯爵の玄孫の方がお二人と、来孫（らいそん、きしゃご：玄孫の子・初代から数えて6代目）の女性お一人が、急いでこちらに来られて、私の横に立たれたのです。どうして人々には神が見えないのか、私には理解出来ませんでした。

これがビホルド・イスラエルの全てです。イスラエルを見て、神を見るのです。神がそこにいて、動いておられるのを見るのです。

神がいなければ、この国の存在はあり得ない、国が息を吹き返すなんてあり得ない、言語が復活するなんてあり得ない、全くあり得なかったのです！

それが今や、私たちはアフリカの国々、ヨーロッパの国々、アジアの国々と同盟を組んでいます。そして、アメリカの最大の友であり、ロシアの素晴らしい同盟国です。ロシアが、私たちを攻めて来ることは、私も知っていますが、今のこの時点では、ロシアの大統領はイスラエルの首相を賞賛の目で見えています。今のこの時点では、我々はテクノロジー大国、資源大国です。しかしこれらは、私たちが、私たち自身で誇ることではないのです。これは私たちの力ではありません。私たちは、近隣のアラブ諸国の餌食となっていた国から、世界のほとんどの国から追い求められる国となって、180°のフルスイングを成したのです。

これは、私たちの力ではなく、神の力です。

エゼキエル38章を成就するには、大国が私たちから盗み、略奪するために攻めて来る、私たちはそういう対象にならなければなりませんから。

これは神の力です。そして私たちは、それを見ているのです。

私たちは、イエス・キリストの時代以来、神が大きく動かれるのを目撃しているのです。

私たちの世代は、イエスの時代以来、これまで存在したどの世代よりも、ずっと多くのことが起こり、成就するのを目撃しています。

だから、すっかり迷い出た人を見ると、物凄く心が痛むのです。

昨夜、私がメッセージの中で、神がアメリカの多くのクリスチャンたちの祈りを聞かれた事や、ドナルド・トランプがどのようにして大統領になったかなどを話していたら、長髪のリベラルの若い男性が立ち上がって、

「彼は女嫌いだ！」

と言いました。集会の真っ最中ですよ。だから、私は彼を見て、

「それは違うよ。彼は、多くの祈りの答えなんだよ。」

と言いました。

私は、この、はるばる教会までやって来た、物凄く間違った情報を吹き込まれ、メディアによって激しく洗脳されて、すっかり盲目になっている男性を見て、世界中にいる膨大な数の自称「クリスチャン」たちのことを思っていました。

彼らは、自分をクリスチャンと言いながら、メディアによって洗脳され、シンプルな現実を、純粋に理解する彼らの能力を、リベラルが完全破壊するに任せています。物凄くショックでした。

ご存知の通り、私はドナルド・トランプの過去は、決して擁護しません。しかし、現在の彼と、彼が当選して以来、大統領として行なって来たことを、私は真っ先に擁護します。家族のため、キリスト教のため、まだ生まれていない命のため、そして、イスラエルのために彼がしていることは、前代未聞です。アメリカ合衆国の歴代大統領の中で、その半分でも行なった人は、一人もいません。それが、クリスチャンたちが彼の過去を攻撃しているとは、どういうことですか？もちろん、彼の過去はひどいものです。しかし、私の過去も酷いですし、あなたの過去も同じです。それなのに、なぜ私たちは大統領を、その大統領の仕事ではなく、過去で裁くのか、私には理解出来ません。私はアメリカ人でもなければ、共和党でもありません。政治自体が好きではありませんし。しかし私は物事を見て、そこに神が動いておられるのを見ています。現在、神があちらで行なっておられるのと同じように。

神は、彼を使って、イスラエルで何かを行なっておられるのです。

神は、彼を使って、中東を再形成しておられるのです。

神は、世界の指導者たちを使って、完全に神の望む事をしておられるのです。

昨夜のメッセージのタイトルは、

「中東を実際にコントロールしているのは誰か？」

ちなみに、もうすでにユーチューブにアップしてありますので、皆さんもユーチューブでご覧いただけますよ。(2018年7月31日現在、日本語版はまだありません。)

「中東を実際にコントロールしているのは誰か？」

自分がコントロールしていると思っていた皇帝たちは皆、ただのジョークでした。

詩篇2篇には、主が彼らを笑っておられるとあります。

彼らは神に敵対し、彼らの望む事は何でも、自分たちのやりたいように行えると考えています。しかし神は、——エゼキエル38章でさえ、ロシアが加わるのを許されたのは、神です。神は言っておられます。

「わたしが、あなたをわたしの地に連れて行く。それで、諸国はわたしが神であることを知るのだ。」

このように、私は非常に…

もちろん、あの男から攻撃を受けるとは思ってもいませんでしたが、私は彼に言いましたよ。

「君は座って聞きなさい。ここで話をするために、はるばる何千マイルも移動して来たのは、私なのだから。君は聞く。私が話します。」

最終的に彼は、誘導されて退出しましたが。

ほんとうに素晴らしい夜でした。

皆さんに言うておきますが、敵は必死です。

私に絡むために、スウェーデンのストックホルムからはるばる日本にまであの男を送り込んだり、今回の男を送って来ただけでなく、昨日、私が発見したのは、我々のユーチューブチャンネルが、11万人近くの登録があるにもかかわらず、視

聴数が激減していて、フェイスブックの視聴数が激増していたのです。だから、一体どうなっているんだろうかと思い、簡単に調べてみたら、皆さんの中の何万人もが、知らないうちに我々のユーチューブチャンネルから登録解除されていたことが分かりました。それが分かった時には、衝撃でした。ですから皆さん、ユーチューブチャンネルに行って、ビホールドイスラエルを再登録してください。あなたの気づかない間に、登録解除されている可能性がありますから。ユーチューブがあなたを削除しているかも知れません。敵は必死にあらゆる方向から攻めて来ます。しかし私たちには、悪魔の策略が見えていますから、簡単に探知できます。

どうか、ユーチューブのチャンネルを再登録して、アップデートだけでなく、メッセージをご視聴ください。アップデートも良いものですが、私は皆さんが教義を覗いてくださることを願っています。聖書を教えているメッセージをご視聴ください。これが、あなたを成長させますから。中東情勢アップデートも良いものですよ。実際に起こっている事の情報を提供するものですから。しかし、あなたと神との関係を強めるのは、神の御言葉の学びです。ですから、メッセージをご覧になることを強くお勧めします。神殿に関するメッセージをアップしたばかりですが、——次の神殿はどこで、いつなのか？そもそも神殿とは何なのか？それを、創世記から黙示録まで通して説明しました。エデンの園に、神殿はありませんでした。そして、新しいエルサレムには、神殿はありません。それから、私たちが持っていた地上の神殿は、始まりは良かったのに、あっという間に、神はそこからいなくなりました。ぜひ、ご覧になって祝福を受けてください。

昨夜のメッセージもご覧いただけます。

「実際に中東をコントロールしているのは誰なのか？」

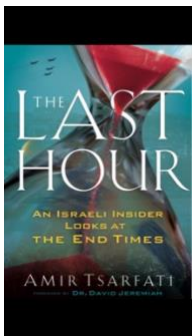
物凄い学びになるでしょう。

それから、嬉しいお知らせです。

私の初めての著書が、発売開始になりました。

タイトルは「The Last Hour/最後の時間」です。

The Last Hour/終わりの時～イスラエル人の視点から見た終末。



私たちのウェブサイト beholdisrael.org の Resource Store から、Book を見つけてオーダーしてください。二日ほどで届きます。しかも、本だけでなく、「I'm a watchman/私は見張り人」と書かれたステッカーも届きます。皆さんが見張り人としての、ご自分の責任と義務を自覚されることを願って、ステッカーをプレゼントしています。もちろん、これはエゼキエル書 33 章 1~2 節です。車のバンパーに貼れば、あなたが見張り人であることが皆に分かります。



Figure 2 アミールさん初の著書 (左) とバンパーステッカー (右)

では数日遡って、中東で起こっていることを見て行きましょう。

ある事に関して、皆さんに警告をしなければなりませんから。

まず第一に、先週 2 回ほどレッドアラートがありました。イスラエルの南部は無視してください。あちらはナンセンスでジョークですから。パレスチナ人たちは注目してほしいだけで、ガザ地区のハマスは、自分の不足を人々に説明することすら出来ないため、その矛先をイスラエルに向けて、どこにも命中せず、何の役にも立たないロケットを発射しているのです。それから彼らは、凧や風船を送って来ますが、それだけです。ですから、南の事は無視してください。重要なのは、イスラエル北部です。ずっと言って来ましたが、イスラエル軍の目は、北部国境に向いています。この 10 日間の間に二度、

シリアから何か飛んできました。このどちらも、イスラエルに向けられたものではありませんでしたが。一つ目は、シリア人のパイロットが誤ってイスラエルの領域に侵入、間違いを悟って方向転換しましたが、手遅れでした。私たちは既に、そのロシア製の戦闘機スホーイを撃墜した後で、彼はシリア領内に墜落しました。

私たちは、シリアに明確なメッセージを送りました。

「意図的であれ、不本意であれ、誰も我々の領内には入れない。」

二つ目は、シリアから二発のロケットが飛んで来て、ガリラヤ湖に着弾しました。ちなみにこれらのロケットは、イスラエルに向けられたものではなく、ISISがアサドの本拠地を攻撃するために発射したものでした。反政府勢力とアサド軍、その中間にいるISISの戦いは、現在、どんどんイスラエルの国境に近づいています。そのために、ベニヤミン・ネタニヤフは、ロシアが我々の国境に駐留することに合意したのです。また、それはロシアのヘルシンキでの米ロ首脳会談の本質の一部です。基本的には、ロシアがそちらにいることに合意したのです。ロシアは先週、外務大臣のセルゲイ・ラブロフと、ロシア軍のトップを送って来て、首相に会わせました。これまでで、最も地位の高い代表团です。それによって、プーチンがイスラエルとの協力関係をどれほど真剣に見ているか、お分かりでしょう。ただ、間違っただけではありませんよ？イスラエルは、国境にロシアが駐留することを喜んでいますが、我々はそれに合意までしましたが、信者である私たちは、これが間違いであることを確かに知っています。そして、信者として私たちはまた、それが起こらなければならないことも知っています。ですからこれは、実際には間違いではなく、預言の成就です。信者である私たちは、理解しなければなりません。こんにち、世界の指導者たちが決定することは、合理的で理論的、必要な事のように見えるのです。そしてこんにち、彼らが下している決断は、我々、神の御言葉を知っている者には、それがどこへ導くのかを分かっています。ただ、もしあなたが今日、イスラエルのシークレットサービスや安全保障機関に行って、

「ロシアが、これからイスラエルに侵略します」

と言ったら、あなたは拘束服を着せられますよ！

当然、彼らには私たちが見えているものが見えていません。

皆さんが驚くのは勝手ですよ？

「ちょっと待って、アミールさん？イスラエルの人たちは聖書を読まないのですか？」

とあなたが考えて、驚くのは勝手ですよ。

ただ、聖書を読む事と、それを信じることは、別ものです。2000年前の弟子たちでさえ、読んでいたのに決して信じなかったのです！

だからイエスは、エマオへ向かっていた二人の弟子たちに言われたのです。

25 …ああ、愚かな者たち。心が鈍くて、預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち。

(ルカ 24:25 新改訳 2017)

彼らは安息日にシナゴーグで、預言を聞いていたのです。しかし、それを全く信じていませんでした。ですから、イスラエル人たちも、預言は知っているかも知れません。預言の書を読んだことがあるかも知れません。しかし彼らは、私たちが信じるほどには、信じていないのです。なぜなら、神の御言葉を文字通り受け取るには、聖霊が必要です。聖霊によって揺さぶられ、主を愛し、聖霊を持っていなければなりません。それが問題です。

ですから、皆さん、よく聞いてください。

イスラエルは、北部国境にロシアが駐留することは構わないのです。

しかも、実際にそれを承認したのです。

私がこんなことを言っていること自体、信じがたいですが、しかしそれがまさに、起こるべき事なのです。

そして、私たちの世代は…私の言うことをよく聞いてください。

歴史上の他のどの世代も、将来のどの世代も、我々が見ているものを見ることは出来ません。私たちは、独立国家としてのイスラエルが、我々の国境にいてくれ、とロシアに頼んでいるのです。すごくないですか？

トルコに関して、彼らがアメリカ人の牧師を釈放したことはご存知ですか？といっても、本当に釈放して家に帰したわけではなく、彼を釈放した後、監禁しています。



Figure 3 トルコに監禁されている
アンドリュー・ブランソン牧師

エルドアン大統領は、トランプ大統領に嘘をつきました。彼は実際、トランプ大統領に言ったのです。

「もし、あなたがイスラエルを説得して、ハマスと繋がりがあって逮捕されたトルコ人女性を解放させるなら、我々も牧師を解放しよう。」

トランプ大統領は、ベニヤミン・ネタニヤフに頼みました。

「私の頼みを聞いて、あの女性を解放してくれないか？」

ネタニヤフ首相は合意して、その女性を我々は解放しました。

ところが、なんと、トルコは約束を破ったのです。そして、トルコとアメリカの間の緊張が高まっています。

また、イランとアメリカの間の緊張も高まっています。

アメリカ大統領と、イランの大統領及び外務大臣のツイッターでのやり取りを、皆さん見ているでしょうか？

戦争の用意が出来ているらしいですよ。

彼らは、絶対にアメリカに勝てない事を、私たちは知っていますが。

ただ、私たちが今、目にしているのは、独裁者たちがトランプ大統領を見下し、世界の他の国々が、彼と同盟を組んでいく様子です。ヨーロッパ人たちを見てください。これらの臆病者たちは、トランプが「ヨーロッパの製品に対して関税を増やす」と言ったことに激怒しているながら、なんと、彼らは尻尾を巻いてホワイトハウスに駆け込み、関税をなくすことに合意しなければならなかったのです。それと、アメリカから大豆輸入を増やすことに合意しなければなりません。彼らに対する彼のやり方は、見事じゃないですか！皆さん、言っておきますが、世は彼を尊敬し始めています。そして、アメリカを利用していた時代は終わったことを、世は理解しています。しかし皆さんも私も知っての通り——昨夜、ある事が頭に浮かんできました。私は眠りが浅いのですが、その理由の大部分が、こう言った考えが私の中でチラチラするのです。昨夜、私が考えていたのは、メディアは激しくトランプを追求し、彼を破壊しようとしているのは、皆さんもご存知の通りで、仮に、あろうことか彼が再当選せず、民主党が当選すれば、その時アメリカは終わるだろうと、私は思います。彼らは、彼のした事全てを覆すでしょうから。それから彼らは、加速させて、アメリカの終わりへの行程、アメリカの完全なる破滅への行程を早めるでしょう。もしかしたら、それが、イスラエルの側に立つアメリカが聖書預言に出て来ない理由なのかもしれません。私には分かりません。

ただ、私はクリスチャンたちに言っておきます。二年前に言ったように、クリスチャンたちにもう一度言っておきます。この中間選挙及び次期大統領選挙でも、神は、私たちに、私たちの役割を果たすように言っておられます。そうすれば、神は、神の部分をしてくださいます。

もし私たちが投票すれば、神は、神の分野を担ってくださいます。そして初めて、クリスチャンたちが立ち上がって投票

した時、違いをもたらすことが出来たのです。

ところが、トランプは実際には正しい動機で動いていないだとか、羊の皮を被った狼だとかいう、この陰謀論にあなたが囚われるなら、またホワイトハウスに民主党が入り込み、彼らが、あなたとあなたの国を永遠に破壊する事になるでしょう。それはもう、回復することも出来ない行程になるでしょう。完全に回復不可能です。

ですから、私は、アメリカのクリスチャンたちが自分たちの大統領に敵対するというナンセンスを止めて、あれが、アメリカのキリスト教にとって、またイスラエルにとっても最高の出来事であったことを証明した男の後ろ盾となるよう、私は願い、祈ります。

ということで、中東で起こっていることを見ています。

それから、戦争が起こっているのも見ています。

ISISは、シリア南部で息を吹き返しています。

信じがたいかも知れませんが、シリアもロシアも、両方ともISISを滅ぼす気は全くありません。ISISのおかげで、彼らは常にそれを責め、シリアに入ることが出来たのですから。シリアの大統領が、石油をISISから半額で買ったのをご存知ですか？ISISは、ユーフラテス川の東側にあるものは全て支配していて、彼は石油を半額で買ったのです。ISISはアサドと取引をしていました。ほんの一週間前、アサドはシリアのドゥルーズが彼に忠実であるかを確かめるため、——今や、彼は国の残りの部分を奪回していますから。彼はISISを解放し、彼らがドゥルーズの村や町に入って、何百人という数の女性や子ども、男性を、それぞれの家で惨殺することを許したのです。先週、凄まじい大虐殺がドゥルーズで起こりました。しかし誰もそのことについて伝えません。その全てが、ただシリア政権の保護のもとに行なわれただけでなく、シリア政権の援助のもとに行なわれ、それによって、ドゥルーズに向けて、明確なメッセージが送られました。

「我々はここに戻ってきた。あなたがたは、我々に忠実であれ。過去7年間、あなたがたは誰を支持して良いのか分からなかっただろうが、私がこの主であり、私がここを支配するのだ。もし、私を支持しないのなら、私はISISからあなたがたを守らない。」

これらの人々が互いに行なっていることは、実に恐ろしいです。

そこでイスラエルがしている事といえば、ただ、イスラエルは、南シリアの人たちを助けています。ホワイトヘルメットの人たちのことも助けていますよ。彼らは、シリア人が避難するのを助けるためにやって来た人たちです。彼らが善人なのか、悪人なのか、その議論は止めておきましょう。彼らは、シリア国内で、民間人を瓦礫の中から救い出すために集まった、別の民間人です。私たちは、彼らがヨルダンへ行くのに、イスラエルの中を通るのを認めただけでなく、彼らを援助しています。



Figure 4 南シリアの人々を救助しているホワイトヘルメットの人們

私たちは、彼らがヨルダンへ行くのに、イスラエルの中を通るのを認めただけでなく、彼らを援助しています。私たちは、バスを出して彼らを乗せ、それから我々の国を通して、はるばるヨルダンまで、彼らを送り届けます。彼らが殺されずに、ヨルダンに到着するように。あちらでは、多くの戦いが起こっていますから。イスラエルは、あちらのチンピラたちと問題を起こしたりしていない唯一の国です。しかし、世はそれを伝えもせず、見せることもありません。それが現実です。

それから、エルサレムポストに関して、皆さんに警告しておきます。皆さんの中のあまりにも多くの人が、あの新聞を情報源として信頼していますが、エルサレムポストは、多くのリベラルが記事を書いています。彼らには、彼ら独自のアジェンダがあり、彼らはネタニヤフ首相を嫌い、あらゆる手を使って彼を叩き、汚名を着せようとしています。それから彼らは、何らかの形で皆さんを説き伏せようとしています。例えば、「サウジアラビアは、イスラエルの味方ではない」とか。彼らはずい先日、

「サウジの王が、『パレスチナに関しては、イランの味方をしている』と言った」

と発表しました。これはデタラメです。

トランプは、和平案に関しては、サウジに相談なしには一切何も行わないことを、我々は既に知っています。なぜかと言えば、和平案の考え方自体が、サウジにその一員として、イスラエルと正常な関係を持たせることだからです。

しかし、エルサレムポストは、別の事を伝えます。

皆さん、エルサレムポストを基に中東情勢の理解をまとめるのは、重々注意してください。政治的な動機を持ったニュースソースですから。これを知っておくのは、非常に重要です。恐らく、彼らが伝える事のうち、50%はニュースかもしれ

ません。しかし、彼らの解析は、何度も何度も大きく間違っ来てました。彼らは、悪いことや間違っことを伝え、そして、一度も自分たちの言葉を撤回することもないのです。こういった彼らの投稿は、彼らのウェブサイトから消えて行きます。

とにかく、皆さんにお伝えしておきます。そのために、私は英語のニュースソースは一切信用しないのです。彼らはみな、汚染されています。

私には、自分自身の情報源がありますし、それから、周辺の中東社会で起っことを、私がライブで見ている情報源もあります。ですから私には、イスラエルで起っ事と同様に、我々の周辺で起っことに關して、確かな情報源があります。

しかし、エルサレムポストはセンセーショナル主義で、安っぽいのです。

ですから、もしあなたが中東アップデートの情報源として、それを頼っているのなら、非常に大きな間違いを犯しているということを知っておいてください。

あれは、保守的なアジェンダを憎む、リベラルによってコントロールされていますから。

言っておきますが、ベニヤミン・ネタニヤフが国法に關する法案を可決しました。

その時に彼は

「我々はユダヤ人国家であり、国語はヘブル語、エルサレムが首都である、という法律をそろそろ設けよう。」

と言いました。

「もし、それに問題があるなら、自分で何とかしなさい。それは、変わらないのだから。」

そして、彼の発言を皆が攻撃しています。

「なんてことを言うんだ!!!」と。

しかし皆さん、この間、トルコを調べてみましたが、彼らの国語は、他にも少数民族がいるのにもかかわらず、トルコ語でした。この間、私が調べてみたところ、イスタンブールは大都市でしたが、彼らの首都はアンカラで、それに関して誰も何も言いません。この間調べてみたら、彼らには旗があっ、彼らは自分たちの国の中にどの国が住んでいるのか、はっきりと認識して、それに関して、誰も議論しません。

それが、我々が「イスラエルはユダヤ人の国だ」と言うと、エルドアンは我々をナチス呼ばわりしますが、皆さん、昨夜私はバルフォア伯爵のひ孫の男性たちに会ったのです！ちなみに彼らはスコットランド人で、イギリス人でもありませんでした。そのバルフォア伯爵が書いた宣言が、後の1920年、サンレモで国際連盟に受け入れられ、その後1922年、イギリスに権限が与えられたのです。今から96年前です。バルフォア伯爵は、

「イスラエルは、ユダヤ人の故国である」

と書きました。

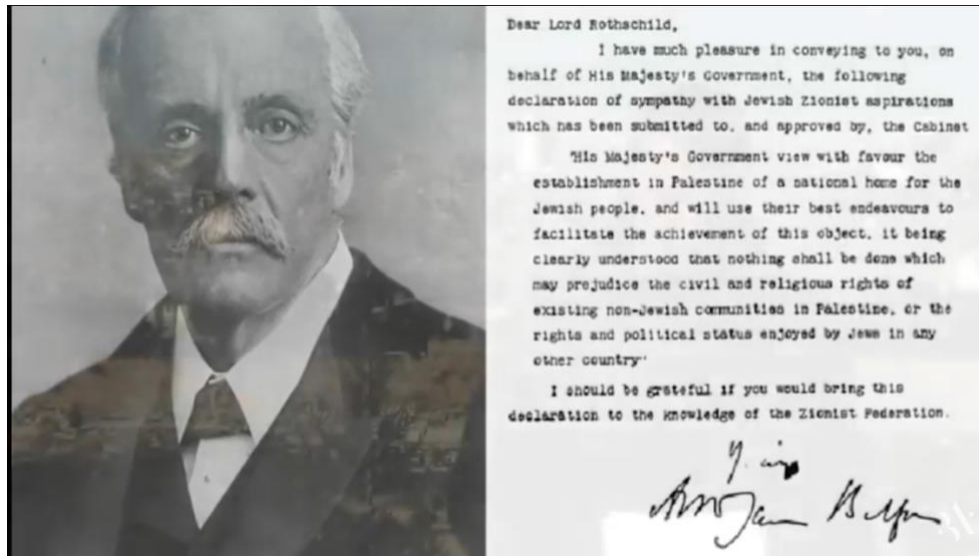


Figure 5 当時イギリスの外務大臣だったバルフォア伯爵が、ロスチャイルド卿にしたための書簡（バルフォア宣言）

私たちは、自分たちの感情だけを基に、イスラエルがユダヤ人の故国だと言っているのではありません。これは、国際法に基づいているのです。それに関して、もしあなたが国際法を認識していないのなら、それはあなたの問題です。ただ、私たちは法を犯しているのではなく、法を繰り返しているだけです。それを確かめているだけです。

今朝、私が観たある動画は——朝の4時から起きていますから。

その中で、アラブ系イスラエル人の国会議員が、世界中を訪れて言っているのです。

「我々は、二国を目指して働いている。一つはパレスチナ人国家、もう一つはユダヤ人の国ではない。」

これが彼の発言です。

一つはパレスチナ人国家、そしてもう一つはユダヤ人の国ではなく、ユダヤ人、アラブ人、その他の人種の国であって、ユダヤ人国家ではない。つまり、彼らはアラブ人国家は欲しくても、ユダヤ人国家はいらない。ですから、このような「二国～」というゴミを唱える人がいるなら、覚えていてください。彼らはユダヤ人国家とアラブ人国家を求めてはいません。彼らが求めているのは、アラブ人国家と、非ユダヤ人国家です。彼らが求めているのは、それです。

ですから、ネタニヤフが言ったのは、

「彼らが皆さんの頭を混乱させる前に、これは、法律に基づいているということ、確かなものにしよう。」

「イスラエルは、民主主義のユダヤ人国家で、ここはイスラエルの地、ユダヤ人の故国である。」

それが、独立宣言です。

「国名はイスラエル、首都はエルサレム、公式言語はヘブル語、そして、国歌は『ハティクバ』」

以上！それが気に入らないのなら、他へ行けば良いのです。

もしそれが気に入るなら、大歓迎です。

ここで、あなたも私たちと一緒に住めば良い。ともかく、それが私たちです。

ですから、もしあなたがそれを変えようとするなら、あなたは法を犯すことになります。これがその目的です。これが国家というものです。

イスラエルの建国70周年目に、私たちは自分たちが何ものであり、我々は何をしているのかを、全世界に向かって伝えたのは、非常に象徴的だと思いました。

もう一度繰り返しますが、私のメッセージの全てはユーチューブで検閲されていて、ユーチューブがあなたのビホールド

イスラエルのチャンネル登録を解除しています。何百人という人たちが登録を解除されたと言っています。これで、なぜ皆がフェイスブックで視聴していて、ユーチューブで視聴されていないのか、説明がつかしました。ですから、ユーチューブに行って、我々のチャンネルを再登録してください。もしかしたら、あなたもユーチューブによって解除されているかも知れません。フェイスブックでも同様に行なってください。彼らはみな、同じことをしていますから。ツイッターも同じです。

次に、皆さん言っておきますが、多くの著名人が一夜のうちに何百万人という数のフォロワーを失っています。それは、全部がフェイクだからです。ただ、興味深いのは、私の場合は、当然、登録した人たちにお金を払ったりしていませんし、フォロワーたちにお金を払っていません。私たちがフォローしたり、登録している人たちは、皆、自由意志によってそれを行なっています。しかし、ユーチューブとフェイスブックがターゲットにしているのは、大半が保守派のチャンネルで、彼らは皆さんの知らないうちに、皆さんを削除し、フレンド解除しています。ですから、その事を警戒しておいてください。私たちが気付いたことは、皆さんにも警告しておきたいですから。

それから、私の本が私たちのウェブサイトで販売開始になりました。beholdisrael.org で、今ご注文いただけます。アマゾンで購入したい方は、10月まで本は届きません。今は予約受付をしていますが、本自体が9~10月より以前には、本屋には届きません。ですから、今から8月の間に本が欲しい人は、私たちのウェブサイトか、我々のアプリよりご購入下さい。beholdisrael.org です。もしくは、9月に南カリフォルニアで私が教える時、それからミネソタのカンファレンスでもご購入いただけます。

カナダの友達全員に、良い知らせがあります。

今年、私たちはカナダの人全員のためのカンファレンスを行ないます。皆さん、ぜひご来場ください。カンファレンスのタイトルは「Awaiting His Return/主の戻ってこられるのを待ち望む」、カンファレンスは、トロントで行います。詳細は、我々のユーチューブ、フェイスブック、ツイッター、それからウェブサイトでお知らせします。11月のはっきりとした日付や、場所はそちらをご覧ください。ただ、皆さんにお伝えしておきます。皆さんのことは決して忘れていません。私は、9月22日のブリティッシュコロンビアへは行きませんが、私と、南カリフォルニアのBarry Stagnar 牧師とで、素晴らしいカンファレンスを行います。タイトルは「Awaiting His Return/主の戻ってこられるのを待ち望む」。素晴らしいカンファレンスになるでしょうから、カナダ中からのご参加を期待しております。私たちのメッセージを聴きにご来場される方は、カレンダーに印をつけておいてください。恐らく、今年の11月10日になると思います。トロントです。詳細はオンラインでご案内します。カナダの皆さん、詳細はどうか、canada@beholdisrael.org 迄ご連絡ください。

皆さん、ありがとうございました。このアップデートの初めに、少々感傷的になったことをお許しください。私も人間ですからね。神が、物凄い形で、イスラエルと、それからここにいる私たち信者に対する誠実を示してくださったのを見て、凄く感動したのです。

そうです。9月にチノヒルズに行きます。私とジャック・ヒブズ牧師が、また「Happening Now」を開催します。これは、イスラエルの救いにフォーカスしたもので、とても素晴らしいものになると思います。おもに、ユダヤ人に何が起きているのかについてお話しします。彼らに何が起るのか、我々信者は何を祈るべきで、我々には何が出来るのか。聖書はそれについてどう伝えているのか。我々は贖罪の日、ヨム・キプールに、それを教えます。その日に、イスラエルの悔い改め、イスラエルの受け入れ、そしてイスラエルの救いについて教えるのは、非常に象徴的だと思います。

ですから、9月上旬は次の「Happening Now」で、カルバリーチャペル・チノヒルズに行く用意をしてください。他のとこ

ろでは、カルバリーチャペル・タスティン、カルバリーチャペル・イーストアナハイムでもお話しします。それからアイダホでカンファレンスを行ないますし、9月の終わりにはミネソタでオリーブツリーミニストリーの大きな預言カンファレンス「Understanding the time/時代を理解する」があります。

皆さん、ご視聴くださり、ありがとうございます。お付き合いくださり、ありがとうございます。私は、家路に着く前の最終地点にいます。

では、最後に、アロンの祝福で締めくくりましょう

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール		
וַיְהַנֶּךָ	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֵלֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー

ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー

イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

その平安は、全ての理解を超える平安で、世が与えることも、理解することも出来ない平安です。それは唯一、平和の君、平和の主からのみ来る平安で、そのお方が、その平安を、今もとこしえに、ここにいても、どこにいても与えてくださいます。

その平和の君の御名、イエシュア、メシア、イエス、私たちの救い、彼の御名によってお祈りします。アーメン。

ありがとうございます。God bless you! I love you!

ニュージーランドのオークランドより、シャローム。

来年は、ナショナルカンファレンスに戻って来ます。ニュージーランドの方、全員をご招待します。素晴らしいものにな

るでしょう。とても楽しみです。

I love you! ありがとうございます。God bless you!

ニュージーランドのオークランドより、シャローム!

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

アーサー・ジェイムス・バルフォア伯爵 : Wikipedia “Arthur Balfour”

バルフォア伯爵の玄孫、来孫の方々と : Instagram beholdisrael What an honor to teach tonight at Calvary Chapel Auckland New Zealand and meet with the great grandsons and great great granddaughter of Lord Balfour who wrote the famous declaration that paved the way to the return of the Jews to the land! They are his descendants and I am the one who was already born in Jerusalem! God is faithful! We are His proof! 2018.7.29

アミールさん初の著書 : Facebook Behold Israel より

バンパーステッカー : Facebook Behold Israel-Biblical Forum より Sandi Wicks の投稿 “Love my bumpersticker!” 2018.7.28

トルコに監禁されているアンドリュー・ブランソン牧師 : United States Commission on International Religious Freedom “Pastor Andrew Brunson”

南シリアの人々を救助しているホワイトヘルメットの人たち : Twitter The White Helmets 2018/08/01 「ホワイトヘルメットチームは、新たに故国を失った南シリアの市民のグループを受け入れました。バス 10 台に、56 人の子ども、30 人の女性を含む型 186 人です。負傷者の怪我の程度が査定され、医療拠点に移送されました。疲れ果てた人々に提供する基本的な必要の準備が整っていました。」

当時イギリスの外務大臣だったバルフォア伯爵が、ロスチャイルド卿にしたための書簡（バルフォア宣言） : Behold Israel 動画「The Wars of Israel (Part 1)/イスラエルの戦争 パート1」より 「親愛なるロスチャイルド卿、私は、英国政府に代わり、以下のユダヤ人のシオニスト運動に共感する宣言が内閣に提案され、そして承認されたことを、喜びをもって貴殿に伝えます。『英国政府は、ユダヤ人がパレスチナの地に国民的領土を樹立することにつき、好意をもって見ることとし、その目的の達成のために最大限の努力を払うものとする。ただし、これは、パレスチナに在住する非ユダヤ人の市民権、宗教的権利、及び他の諸国に住むユダヤ人が享受している諸権利と政治的地位を、害するものではないことが明白に了解されるものとする。』貴殿によって、この宣言をシオニスト連盟にお伝え頂ければ、ありがたく思います。 敬具 アーサー・ジェイムス・バルフォア」